

まちがど ホットライン

成進高校生徒会が

文化祭のバザー収益金を寄附



成進高校生徒会が昨年11月に行った文化祭の飲食バザーや遊休品の販売などの収益金3万3378円を県共同募金会美祿支会に寄附されました。

1月6日、新旧生徒会長の三嶋圭祐くん（普通科3年）と山田栄美さん（普通科2年）が市役所を訪れ、「福祉のために役立ててください」と村田市長（県共同募金会美祿支会会長）に収益金を手渡しました。文化祭の収益の寄附は旧校名の美祿中央高校時代から毎年続けられています。

新春たこ揚げ大会・遊びの広場



1月10日、美東町と秋芳町の子ども会育成連絡協議会の主催で新春たこ揚げ大会・遊びの広場が秋吉台少年自然の家を会場に行われ、約100人が参加しました。

子どもたちはジュニアリーダーたちから指導を受けながら、和紙やビニール、竹ひこなどを使ってオリジナルの手作りたこを作りました。中にはえとにちなんだたこに牛の絵を描いている子の姿が見られました。

この日は雪が降る悪天候でしたが、子どもたちはたこ作りの後、ゆでたまごや焼き芋を食べたり、ビンゴゲームを行いました。楽しい休日を通しました。

平成21年美祿市消防出初式



1月10日、市内13分団と自衛消防隊などから約半数の463人が参加して、美祿市消防出初式が行われました。

出初式の最初に行われた観閲パレードでは、徒歩隊と車両隊に分かれ、各部隊ごとに市民会館前をパレードしました。また、幼年消防クラブの麦川保育園園児も雪の降る中、防火遊戯を元気に披露しました。

式典では、功績のあった団員と永年勤続団員、永年勤続退職者に山口県消防協会長、市長、消防団親和会長からそれぞれ表彰状や感謝状が贈られました。式の最後には、厚狭川河川敷で色鮮やかな一斉放水を行いました。

城原小学校 新春かるた大会



1月13日、城原小学校で新春かるた大会が行われました。

学年の代表が好きなことわざ、和歌を発表し、学校の近くに住んでいる岡藤泰治さんから百人一首の歌の意味や歌人にもつわる逸話についてのお話を聞いた後、百人一首やふるさとジャンボかるたを行いました。

ふるさとジャンボかるたは平成15年に当時の児童が親子で、学校や地域のことを歌にして作ったものです。体育館に47枚の絵札が並べられ、教諭が札を読み上げて合図をすると、子どもたちは歓声を挙げながら絵札に向かって走り出していました。

12月議会 一般質問

Q 質問要旨 & A 答弁要旨

市議会定例会での、一般質問の質問要旨と答弁要旨を紹介いたします。

また、本会議や各委員会の様子は、市有線テレビ（MYT）で放映しており、各総合支所では録画を見ることが出来ます。議事録も市議会事務局、美祿図書館、各総合支所、市ホームページでご覧になれます。問合せ先 市議会事務局（☎0837-1117）

竹岡 昌治議員



1 観光振興について

Q 総合計画審議会と三つの地域審議会に総合計画策定に関する諮問をされているが、今後のとりまとめについてお伺いします。

A 市長答弁

総合計画審議会は、地方自治法に基づいて設置をし、総合計画の策定に関してご審議をお願いするもので、設置期間は2年間です。一方、地域

用についてお尋ねします。

A 市長答弁

観光事業について平成20年は、山口県とJR6社が共同で、県下一斉にキャンペーンを実施し、本市も積極的に取り組み、観光客の誘致を推進してきました。しかしながら、ガソリン価格の高騰によるドライブ観光の差し控えにより、秋芳洞の入洞者数は平成19年度64万4千人に対して、平成20年度は63万人台と見込んでいます。

今後、観光客の受け入れ体制の整備として、また観光立市としての魅力を高める施策として、公共交通機関などの一次・二次交通の整備、閉鎖店舗の改善、またお客様の方の整備や秋芳バスターミナルなどの受け入れ体制の整備、各洞内の照明設備の改善などの諸課題に取り組みたいと考えています。

次に、秋芳洞を訪れた外国人観光客の平成19年度地域別入洞者数は、台湾からが2,477人、韓国からが2,278人、中国からが1,262人、アメリカからが1,182人の順で、合計は5,462人で、総入洞者数に占める割合は約1%となっています。

次に、観光事業の国の取り組みとしては、10月1日に観光庁が発足し、日本を訪れる外国人旅行者を2010年までに1,000万人とする目標が掲げられました。

こうした状況の中、本市は下関市と長門市との間で広域観光協定を結ぶ協議を重ねており、今後観光圏整備法における支援制度を最大限に活用しまして、観光事業に取り組みたいと考えています。

Q 観光大使の公募と人材育成についてお考えをお伺いします。

A 市長答弁

山口県を代表する観光地を保有していることから、観光大使も重要と思っています。今後、公募などの検討を考慮しており、観光大使の民間人登用についても、公募と併せて検討したいと考えています。また、外国人観光客に対応できる人材の育成など受け入れ体制の整備については、国際競争力の高い観光地形成により地域活性化を促進するため必要と考えています。

萬代泰生議員



1 学校評価システム構築事業について

Q 学校評価システムの概要についてお尋ねします。

A 教育長答弁

本市の学校評価は目標管理型であり、学校は年度当初、学校教育目標に即して、重点目標を3項目程度設定します。そして、学校独自のアンケート調査や市全体で11月に実施する統一アンケート調査などを活用して教育活動を点検し、校内評価委員会において、自己評価の結果および今後の改善方策について自己評価書を作成します。また、保護者や地域住民などで組織し設置された学校関係者評価委員会の委員が、自己評価書に基づいて学校関係者評価書を作成します。学校はこの評価書に基づいて来年度の教育活動の内容などを検討し、学校改善報告書に具体的な改善、取り組み